

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】総務課

|           |   |       |    |
|-----------|---|-------|----|
| 会議の名称     | 第2回 茅野市特別職報酬等審議会  |       |    |
| 開催日時      | 令和4年9月28日（水） 午後7時～午後8時  |       |    |
| 開催場所      | 茅野市役所705会議室   |       |    |
| 出席者       | <b>【委員】</b> 細田秀司会長、矢島敬一委員、深井孝彦委員、北原政彦委員<br>小平健一委員、熊谷洋委員、両角美智代委員、中村勝哉委員<br><b>【事務局】</b> 有賀総務部長、田中総務課長、国枝職員係長   |       |    |
| 欠席者       | <b>【委員】</b> 長田幸子委員、山岡百合子委員  |       |    |
| 公開・非公開の別  | (公開)・非公開  | 傍聴者の数 | 0人 |
| 議題及び会議結果  |   |       |    |
| 発言者       | 協議内容・発言内容（概要）   |       |    |
| 会長        | 1 開会（会長）<br><br>2 会長あいさつ<br><br>3 審議<br>（1）特別職報酬等の改正の可否等について<br>それでは、審議に入ります。（1）特別職報酬等の改正の可否等についてを議題といたします。<br>前回、事務局から出された資料に加え、委員の皆さんから求められた追加資料を事務局に用意していただきました。まずは、事務局から追加資料の説明をお願いします。 |       |    |
| 事務局（国枝係長） | （事務局説明）   |       |    |
| 会長        | 只今の追加資料の説明に対しまして、質問やご意見がありましたらお願いします。<br><br>（特になし）   |       |    |
| 会長        | それでは、これまでに出された資料等を基に特別職報酬等の改正の可否等について議論を深めたいと思います。<br>まずは、委員各自の率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。順番に現時点でのお考えをお聞かせください。   |       |    |
| 委員        | これまでの資料を見た中では、個人的には少し上げて良いと思っています。  |       |    |
| 会長        | 総体的にということでしょうか。   |       |    |
| 委員        | そうです。   |       |    |

|    |  |
|----|--|
| 委員 | 自分も今回は上げて良いと考えています。  |
| 委員 | <p>私は据え置きで良いと考えています。考え方としましては、まずは職務に新しいことが付け加えられた等の大きな変化がないこと。一般企業では、会社の規模や財政状況を元に株主総会で役員報酬の年の限度額を決定し、その後に個人別の報酬額を決めています。今回の特別職の報酬は同様ではないですが、人口等自治体の規模や財政状況を考えたうえで特別職の報酬が適正か考える必要があると考えます。報酬は月額と賞与しか無いですが、例えば市長さんなら4年の任期が終わると退職金も出ます。一般企業では、任期中に大きな実績を残した役員に支払われますが、どちらかという、今支払われている市長さんの退職金は給与の後払い的な意味合いが強い気がしますので、退職金も含めた4年の任期に支払われる総額で判断し月額を考えた方が良いのではないのでしょうか。また、民間の給与がぜんぜん上がっていないですし、物価も大きく上がっていない。民間の給与が下がっている点を見ると、下げないにしても、現状維持ではないのでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>難しいですが、上がる要素が見つからないので、現状維持かと思います。物価についても前回の改定時から1.7パーセントであり、政府目標の2パーセントにも届いていないですし、民間の平均給与もデフレの影響を受け下がっている。一番は、市の財政面を考えると上げられないという気がします。</p> <p>今後の話ですが、いつかは人事院勧告等の指標のベースを持って行かれた方が議論しやすいと思います。総合的な判断ではいつも横ばいになりそうですので、何かベースを持って、それに対するプラス、マイナスで行けば良い。下げたり上げたりする数値が浮かばないので、現状維持になってしまうのかと思います。ベースとなる指標を一つでも二つでも良いので、持って判断していくことを今後どこかで議論して行った方が良いと付け加えさせていただきます。</p>  |
| 委員 | 据え置きでも上げてどちらでも良い。もし上げるのならば、市長、副市長、教育長は上げて良いですが、議員は据え置きで良いと思います。報酬に見合った仕事をしているのか見えないので。   |
| 委員 | <p>お金を出すからしっかり働いて欲しいと考えている。選挙戦にならない可能性が高かったりするの、不思議だと思っている。報酬が上がればもう少し競争になるのかと思いますので、上げた方が良く考えます。少し上げただけでは競争にならないので、上げるなら大きく上げて良いと考えています。どうしても上げたいという意見ではないですが、どちらかという上げた方が良く思っています。</p>   |
| 委員 | <p>今回の人事院勧告を見ても月額給与が若干上がるが若い人たちだけあり、ある程度上の人は変動がない状況です。年度後半から物価上昇がかなり効いてくるとは思いますが、それを現時点で判断できない。また、来年</p>   |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>度は人事院勧告を高く出さなくてはいけないと思うが、毎年改定する訳にもいかない。色々考えましたが、据え置きの方に意見が傾いています。市民の施策に対する評価もこれから出てきますし、昨日違う会議でも子どもの医療費負担の話もありましたが、他の市町村にも追いついていないという話もある中で、報酬を上げるのはまだ早いと思いました。来年には人事院勧告も上がると思いますし、1年間据え置きで来年また審議しても良いのではないかと思います。</p>   |
| 委員        | <p>理事者は激務である中、基金も段々減ってきている市の財政状況を踏まえ、自身の給与をカットしている。また、一般企業のサラリーマンが200日以上勤務し残業して420万円くらいの収入を考えると、議員の500万円以上の報酬は世の中の状況で考えると良いのかなと思う。365日が勤務と言っても、勤務報告である日報がある訳ではないです。先ほど出ましたが、報酬を上げれば議員のなり手が多くなって優秀な方が当選していくのは良いかもしれませんが、現状を見るとなかなか難しいと思います。</p>                          |
| 会長        | <p>皆さんから一通り意見をお出しいただきましたが、これから更に議論を深めたいと思いますが、いかがですか。</p>   |
| 委員        | <p>報酬を上げるという考え方は良いと思いますが、私の場合は総額があつての話ですので、今の状況で上げるには根拠が足りないと思います。もちろん上げてしっかり働いてもらいたいと思いますが、議員定数と報酬が比例する部分があつて、例えば定数を下げて報酬を上げる考え方、市の財政規模が硬直化していて基金を取り崩している状況からすると、全員を上げるというのはないのかなと思います。ここでの議論ではないと思いますが、報酬を上げたいなら人数を減らすということと考えています。</p>                               |
| 委員        | <p>諏訪市は議員が15人なんですよ。</p>   |
| 事務局（有賀部長） | <p>そうです15人です。</p>   |
| 委員        | <p>茅野市は18人ですよ。岡谷は何人ですか。</p>   |
| 事務局（有賀部長） | <p>18人です。</p>   |
| 委員        | <p>以前の仕事で議員さんと関わる機会がありましたが、本当に一生懸命やっている人は、あちこち周って情報収集したり、365日に近く仕事をしている人もいます。全員そうかという、そうではない部分もあり難しいのですが、広報的なことをもっとやらないと、議員さんは何をやっているのかわからないという話は何処でも出る。議会改革の話も報酬の話とセットにせざるを得ないと思います。県内順位では人口では10番目なのに議員報酬は14番目ということで可哀そうな面もありますが、指標が上向いていない状況ですので、今回は現状維持で良いと思います。</p> |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>議員の仕事は見えにくいですが、市民の意思決定を代理するのが議会なので、理事者が変な施策を行おうとするときには活躍するし大事になる。また、茅野市の地域的な構造を見ると、色々な地域がそれぞれ核になっているので、議員の数をあまり減らすと住民代表というニュアンスが段々薄れてくる面もあるので、議員を減らすのが難しい地域である気がします。</p> |
| 委員        | <p>それもありますが、各地区には区長会長等がいて地区の問題などは区長会長からしっかりと市へ上がっているのです、議員の仕事はむしろ減っているのではないかと考えています。例えば、道路を直して欲しいとか、子どもたちが通るので歩道を付けて欲しいとか、市へはきちんと上がっていると思います。</p>                           |
| 委員        | <p>基本的には区長さんからそういった要望は市へ上がりますね。</p>   |
| 委員        | <p>そういう意味では上げる要素って何かなと思っています。</p>   |
| 委員        | <p>議員の仕事の見せ方は難しい面があって、確かに区長会とかがありますが、色々な問題がある場合にはっていうこともあるので、そういった制度を担保するためには議会は大切だと考えます。そのためには常日頃から研鑽を積んでいただきたいと思っています。</p>  |
| 委員        | <p>小さい自治体で問題になっているのは、若い人が議員になろうとしない。議員の確保という面では考えないといけないが、茅野市では今はまだ定足数に足りない選挙にはなっていない。議員のなり手がなくなった時には、考えなくてはならないが、そうでなければフラットに考えれば良いと思っています。</p>                            |
| 会長        | <p>ほとんどの方が専門なんでしょうか。</p>  |
| 事務局（有賀部長） | <p>兼業の方もいますし、自営や農業の方もおります。</p>  |
| 委員        | <p>民間ですと毎年賃金査定を行います、公務員はそうはいきませんので、その中で金額を上げたり下げたりするのは難しい。民間では能力と実績がないと基本ベースが出てこない。査定が良ければ賃金も上がっていく、同じ年齢でもフラットではないというのが民間です。</p>  |
| 委員        | <p>企業は利益を出してるから上げると思いますので、市の人口に基づく財政規模があって、報酬の総額が決まりそれを人によって分けるということだと思っています。今の財政状況を見ると上げる状況ではないと思います。</p>  |
| 委員        | <p>今は他の自治体の状況等を見て比べてみても、実際にはこれが適正かはわからない。今物価高になって一般企業の給料が上がらないのに、今回上げたら、何考えているのと言われる気がする。特別職の報酬が上がらないと市職員の給与が上がらないという訳ではないですよ。でも周りが上が</p>                                   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>っていないのにと必ず見ると思います。上げるにはそれなりの根拠を出さないといけないと思います。</p>  |
| 委員        | <p>特別職の報酬の比較対象は、同一規模の自治体の出し方を見て、それに対するプラスマイナスをするしか実際にはやり方がない。県の特別職報酬審議会もそういったやり方でやっていると思います。もちろん財政状況もあります。自治体の規模によってある程度決めざるを得ないですが、あまり少ない金額では生活に問題が出ると思っています。</p> |
| 委員        | <p>うちの場合ですが、総額は変わりないですが、来年度から理事の人数を減らすことにしました。こちらの場合でも総額は変わらないけど議員の人数が減ったら、1人当たりの報酬額は増えるので、先にそちらを考えたかどうか。</p>  |
| 委員        | <p>私もそのように思いました。</p>   |
| 委員        | <p>定数削減は議会の議決事項ですので、そのことをこちらからは言いづらいですね。諏訪市は減らしていますが、その時には審議会への諮問の仕方も違ったのかもしれませんが。</p>   |
| 会長        | <p>その他に何かご意見等ありますか。今皆さんの意見を色々お聞きしたかと思っていますので、再度考えを一人ずつお聞きしたいと思っています。</p>   |
| 委員        | <p>据え置きでお願いします。</p>  |
| 委員        | <p>上げてても下げても良いのですが、もし意見を伝えられるなら、総額同じで議員数を減らせば報酬を上げられるということを思っています。</p>   |
| 委員        | <p>今の時点では据え置きしかない。情勢の変化等あった時にまた考えるしかないと思います。</p>   |
| 委員        | <p>今、理事者は自主返納中ですか。</p>   |
| 事務局（国枝係長） | <p>市長が10パーセント、副市長が7パーセント、教育長が3パーセント減としています。</p>  |
| 委員        | <p>それは何で減額しているのでしょうか。</p>  |
| 事務局（有賀部長） | <p>市民に市の財政状況等を知らせるために、自らその姿勢を示すため市長が減額し、副市長と教育長もそれに賛同したものです。</p>   |
| 市民        | <p>それはどのくらいの期間ですか。</p>   |
| 事務局（国枝係長） | <p>令和3年4月1日から来年4月の任期までです。</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
| 事務局（有賀部長） | 選挙もありますので、他の出馬者に影響を与えないため、自分の任期までとなっています。   |
| 委員        | 何故伺ったかという、財政の影響で自主減額をしている中で、この場で何パーセント上げるということを決めるのは難しい。まずは自主減額をもどすくらいの財政の立て直しをしていかないと、魅力的な職種にならないのではないのでしょうか。また、CPIに基づくのか人事院勧告に基づくとか、何かの根拠がないと議論はできないと思う。消去法で現状維持と考えます。  |
| 委員        | 意見は変わらず据え置きです。  |
| 委員        | 私も現状を踏まえると上げることも出来ない、据え置きでいいと思います。  |
| 委員        | 私は始めに言ったとおり上げていいと思っています。20年以上、上げていないということもあるし、物価も現在は非常に上がっている。議員に関しては、各地区でお前出ろと言われて出ている人が多いので、そういう人がいなくなれば、逆に定数はあつという間に減ってしまう。今、議員さんともお話しする機会がありますが、何かあつたら直ぐに来てくれるところも見てるので、あまりにひどい議員さんはいないと思います。ひどい議員さんは選挙で落ちると思います。長野県の真ん中くらいの順位にはいるくらいでもいいのではないかと思います。 |
| 会長        | <p>様々なご意見ありがとうございました。多くの委員の意見では現状維持ということかと思しますので、この審議会の意見としては据え置きということによろしいですか。</p> <p>（異議なしという声あり）</p>   |
| 会長        | ありがとうございます。では、事務局の方で答申書を作っていただきたいと思います。   |
| 事務局（国枝係長） | <p>ご審議いただいた結果については、答申書というものにまとめまして、それを委員さん方から市長へ答申をいただくような形になります。少しお時間をいただければ、素案を作って提示をさせていただきたいと思うのですがいかがですか。</p> <p>（異議なしという声あり）</p>  |
| 事務局（国枝係長） | <p>では素案を作成の上、印刷をかけてまいりますので少々お待ちください。</p> <p>（事務局により答申書案を作成・印刷）</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
| 事務局（国枝係長） | <p>（答申書案を朗読）</p> <p>市長、副市長及び教育長の給料の額並びに議会議員の報酬につきましては、据え置くことが適当であると判断いたします。</p> <p>この内容でいかがでしょうか。何か修正等あればお願いします。</p> <p>（この内容で良いという声多数あり）</p> |
| 事務局（国枝係長） | <p>それでは答申の方法についてご意見をいただきたいのですが、答申の際に皆さんでいらっしゃるか、それとも会長さんが代表するというところでよろしいかお決めいただきたい。</p> <p>（会長が代表して答申するとの声多数）</p>                             |
| 会長        | <p>わかりました。責任をもって答申をさせていただきます。何時頃の予定ですか。</p>   |
| 事務局（国枝係長） | <p>日程につきましては、市長日程等も確認して会長さんと調整をさせていただきます。</p>   |
| 会長        | <p>委員の皆様には慎重審議をいただき、ありがとうございました。私の方で責任を持って市長へ答申させていただきます。以上で、第2回茅野市特別職報酬等審議会を閉じさせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。</p>                              |